タウン タウン 小麦

特定非営利活動法人
発　行　くまがや小麦の会
発行責任者　日向美津江
ホームページアドレス
http://www.kumagayakomuginokai.jp/
くまがや小麦の会　検索

認定 NPO 法人
くまがや小麦の会
since 2006
事務局　〒360-0801　埼玉県熊谷市中奈良1797-1
TEL. 048-521-7801

Interview シリーズ No. 29

コロナ禍とうちわ祭

八坂神社大祭 熊谷うちわ祭
令和二年・三年 年番町荒川区 大総代 富田（とみた） 満（みつる）

昭和 34 年（1959）11 月 14 日、埼玉県熊谷市生まれ。熊谷市立南小学校、荒川中学校、埼玉県立北本高等学校卒業後、調理師専門学校などを経て、東京都内の銀行系の料亭で板前として研鑽を積み、その後、アメリカヒューストンで2年間の料理人生活を送る。

平成元年（1989）、熊谷に戻り、家業の熊谷中央不動産（株）に就職。後に同社代表取締役社長に就任。熊谷うちわ祭には荒川区の一員として幼少期から参加し、2回の副大総代を経験。令和 2 年（2020）に熊谷うちわ祭大総代に就任した。その後、コロナ禍を受け、引き続き令和 3 年も大総代を担う。

熊谷の夏を彩る「熊谷うちわ祭」。熊谷人の魂を躍動させる重要な祭礼であり、熊谷宿から引き継がれた文化そのものである。毎年、7月20日から22日の日程で神事、神輿渡御、山車屋台の巡行祭、曳っ合わせ叩き合いが行われ、熊谷の夏を強く印象付けてきた。

ところが、令和2年は、新型コロナウイルスの感染拡大で政府の緊急事態宣言が発出されるなど、国内の多くの伝統行事が中止と縮小を余儀なくされた。

「熊谷うちわ祭」も例外ではなく、神事のみの開催となり、祭礼の総責任者である大総代は翌年も引き続き担うことが決まった。このような経緯から、史上初となる2年連続で大総代を担う富田満さんは、うちわ祭に対する思いを改めて強くしている。

熊谷の夏とうちわ祭

富田さんは「私は小さいときからうちわ祭が大好きで、荒川区のお囃子に熱心に参加していました」と目を輝かせながら語る。大総代就任という責任の重さとともに、念願の役割を与えられたことへの感謝の気持ちがあった。

令和2年、富田大総代は、宮司から賜った「神威洽六合（しんいりくごうにあまねし）」という言が掲げた。神の威厳が東西南北天地、強いては世界中、さらに宇宙にまで祭りを通して行き渡るという意味で、祭礼運営の基本方針となっている。

新たなうちわ祭の姿

富田さんの想いもひとしおに祭礼の準備が進められたが、令和2年から令和3年へと疫病退散の意を込め、仕切り直しとなった。富田さんは、慣れ親しんだ「お囃子」の響きが祭礼の原動力であり、コロナ退散に向けた勇気を人々に与えるのではないかと語る。

ウィズコロナという新たな生活様式が求められている昨今、新たな「うちわ祭」の姿を模索する中で、令和3年も神事のみの開催となることが決まった。

富田さんは「うちわ祭は熊谷人の地盤であり、財産であることは確かです。今の時代と向き合いながら、伝統文化の継承という意味を例年以上に感じています」と語り、前向きな想いで年番札を次へと託す。（Y・Y）

長きに渡るコロナ禍、私達の生活は様々な規制を強いられてきました。そんな中、遅速はあっても季節は滞りなく巡って来ます。

俳句は季節を通して自然と共生する文学です。俳句を始めると日々、季節を意識するようになります。今迄何となく感じていた事が季語という言葉で、はっきりと浮かび上がって、生活を彩り豊かにしてくれるのです。

一粒の麦句会の皆さまには、熊谷という地の利を生かして、四季を楽しんで頂きたいと思います。

飛鳥　蘭

一粒の麦句会

令和二年十二月　第十一回投句句会
兼題「師走」「時雨」当季雑詠

時雨雲筑波山麓農じまひ　近江
息白く越ゆる箱根の外輪山　良千
赤城颪かかあ天下の国にをり　遊美
コンサート待つ間華やぐ時雨かな　翠子
忙中の閑あり友来て日向ぼこ　春華
古稀過ぎの仕事断捨離冬紅葉　季香
宇宙食師走の市に積まれをり　蘭

令和三年二月　第十三回投句句会
兼題「春寒（春寒し）」「辛夷」当季雑詠

目の覚むる程の辛夷の白さかな　春華
十年の余震を宿す春の土　翠子
春寒や葉物の野菜待ち遠し　良千
古稀過ぎて知る蹉味噌の旨さかな　季香
紅梅の一輪開く佳き兆し　近江
料峭や外出の襟を確と立て　遊美
二万歩に休憩三度水温む　蘭

令和三年四月　第十五回投句句会
兼題「春惜しむ」「藤」当季雑詠

母在りし頃の藤棚地面まで　良千
薄紅のひとひら髪に春惜しむ　近江
行く春や時間ばかりが過ぎて行き　遊美
浮沈して堰に留まる花筏　季香
散り散らず堰切るやうに花の雨　翠子
枝傾げ水面へ花を注ぎをり　蘭

以上　飛鳥　蘭選

麦笛

「小さなことを大切に出来る事」

日向美津江

◆オリンピック、パラリンピックの開催の見通しが、コロナ禍の緊急事態宣言、まん延防止宣言、ワクチンの接種状況と高齢者に摂っては甚だハードルの高い状況に取り囲まれている。新種のウイルスの増加傾向は、熊谷市から出られない状況を課してくる。高齢者は引き籠りのような環境に、鬱に陥り易いこの頃だ。

◆外出がままならぬうちに迎えたゴールデンウィークをこれまであまり手を出さなかった庭いじりに没頭した。草取りから始まり2日間這いつくばった。次は近くのホームセンターに通い、薔薇のアーチ、下草の植え込み等々楽しんだ。後期高齢者に入ろうとする団塊の世代は、日本の高度成長期の中を過ごしてきた。自分にとって本当に大切な時間の使い方を、じっくり考える事をしないで、企業戦士として過ごしてしまったのかと、土いじりを通して思った。

◆「小さなことを大切に出来る」事は自分に厳しい事かと思う。話は飛ぶが、建築家の吉村順三氏（1908～1997東京芸術大学名誉教授）が思い浮かんでくる。吉村順三氏の著書、設計された家を見て憧れていた。人が暮らすために気持ちの良いこと。この二点に向け小さなことから積み上げられ、設計理念を貫く。フランク・ロイド・ライト氏→アントニン・レーモンド氏→吉村順三氏と夫々の設計事務所を通じて繋がっている。縁あって熊谷に暮すようになり、熊谷に吉村順三氏の設計した家があることを知り驚いた。拝見させて頂いた御縁で現在も御厚情を頂いている。依頼者の切なる願いを受け止めて下さる吉村先生に益々尊敬の念を深くした。偉業を成された方は、小さなことを大切に出来る事〟をお持ちなのだと感じ、書かせて頂いた。

◆75歳を目前にすると後どれだけ残されているかを考えるようになった。コロナ禍が人類に警鐘を鳴らしているかのように、自分のこれからは係る人たちに良かれを考え過ごしてゆきたいものだ。

小麦の会 ボランティア活動

1／6(水)　熊谷市県立高校スイーツ文化祭現状報告紙・タウンタウン小麦配布　八木橋百貨店1F

コロナ渦で中止になった「第7回熊谷市県立高校スイーツ文化祭」に代わり、同イベントの現状報告を掲載したタウンタウン小麦30号と、スイーツ文化祭についてのアンケート用紙を配布しました。多くのお客さまが足を止めてくださり、熊谷産小麦と地元高校生のコラボに関心を持たれていると感じました。(R)

3／23(火)　令和２年度埼玉県共助社会づくり課支援事業に採択されました。

当会の事業名「埼玉県産小麦を使用した県立高校オリジナル製品開発による地元活性化事業」本事業を進めるに当たり、熊谷市役所農業推進課、埼玉県北部地域振興センターのお力をお借りして、小麦の会が熊谷市県立高校8校、地元製造業者、八木橋百貨店に連携を取り11月3日八木橋に於いて「第7回熊谷市県立高校スイーツ文化祭」実施を計画しました。コロナ禍で中止となってしまいました。参加予定の県立高校8校を訪問して、個別に、スイーツ文化祭への各校のお考えを伺って参りました。年を越え1月16日（土）に八木橋百貨店の例年スイーツ文化祭を開催する東口入り口で、現状報告会を開催致しました。小麦の会の会員が八木橋百貨店来客にスイーツ文化祭のアンケートを実施致しました。密を避けアンケート回収箱を1週間設置、配布200部回収20部の回収状況でした。県立高校8校を対象とした熊谷市の行事はこの行事だけであり、熊谷市にある県立高校に通学する学生に熊谷と接する機会となり、自校オリジナルの製品を持ち、直接一般市民に販売する事はOB,OGとの触れ合いの場も創造されています。文化祭、学校行事にも活用されています。

今後は県立高校の体育館等を利用して、年に一度のスイーツ文化祭だけでなく、小麦の会が連携役となり、熊谷出身のアーティストの発表の場を作って行きたいと思いました。今回の事業を採択していただき、次回へのステップとさせて頂きます。(H)

文化財で街おこし　渋沢栄一が歩んだ妻沼

講演会「妻沼聖天山と渋沢栄一」

2021年（令和3年）、日本近代経済の父、渋沢栄一に関連した様々な情報発信が行われ、NHK大河ドラマ「青天を衝け」の公開を契機に、渋沢栄一や尾高惇忠、渋沢家の人々の存在が脚光を浴びている。渋沢栄一は、自身の回顧録や、後に編集された『渋沢栄一日記』などに、妻沼を来訪した記憶や、妻沼聖天山に対する想いなどを記している。剣術の稽古に妻沼の俵瀬村を訪れた後、妻沼聖天山で昼食を御馳走になったことや、晩年に熊谷の竹井澹如別邸（現在の星渓園）を経て、妻沼聖天山を参拝した記録が残されている。また、同境内には渋沢家から奉納された石造物が残されるなど、深い繋がりが感じられる。渋沢は妻沼を文化と経済が融合した地として称賛した。渋沢を通じて郷土の歴史に光を当てる好機が到来している。

（熊谷市立江南文化財センター　山下祐樹）

熊谷の道端から ～ゆるゆる散歩雑記帳～

うちわ祭の山車庫・屋台庫

普段はひっそりと街並みに溶け込む、うちわ祭の山車庫・屋台庫。神社境内、住宅街のど真ん中、陸橋下などロケーションも様々で、外からの見物人が自力で全て探そうとすると、なかなか難しい。弥生町区は「弥生町の屋台庫を探そう」と思って歩いても、まず見つからぬ難所。祭り前日に拠点まで曳き、祭りを終えた翌日に屋台庫へ戻すという。お祭り広場から遠く踏切越えもあるのは、伊勢町区。華やかな見せ場に至るまでの長旅を思うと、閉じた扉の向こうに眠る山車に手を合わせたくなる。（N・T）

■ 会員募集
賛助会員年会費 10,000円　一般会員年会費 一口1,000円
お申込み:TEL 048-521-7801　FAX 048-521-7900

次号のお届けは 2021年10月の予定です。
編集室　TEL 048-521-7801　FAX 048-521-7900

あの町この店

Una Casita - おなかすいた -

おなかすいた入り口。旬で美味しい、規格外の野菜が並んでいます。

アズ熊谷アズセカンド店
アズ熊谷アズセカンド 3F
電　話　048-578-8742
営業時間　10:00 ～ 21:00
http://www.una-casita.co.jp/una-casita.html

旬の新鮮な青果とこだわりの調味料

2020年熊谷駅アズセカンドに小さいながらおしゃれなレイアウトでこだわりの食品を売るお店が出現しました。株式会社Ｍｏｎｇ Ｔｅｎｇ（モンテン・2015年設立）が首都圏と中部圏を中心に出店した21番目の店Ｕｎａ ｃａｓｉｔａ《おなかすいた》アズ熊谷アズセカンド店です。モンテンは日本の食を大切にして、近江商人が大切にしていた「売り手良し」「買い手良し」「世間良し」という商売道徳「三方良し」と「サスティナビリティー」の考え方を取り入れた基本姿勢で、本当の幸せを標榜する理念を持つ企業です。おなかすいたに置いてある青果は旬で新鮮で美味しく、規格外であるため安く提供されています。規格外の青果を扱うのには農家を大切にする気持ちが込められています。そして、全国のこだわりのメーカーから仕入れている調味料などはどれも手間暇かけ、添加物も極力入っていないこだわりの商品です。健康にも良い美味しい食を提供したいという姿勢が感じられます。

この店の一角にくまがや小麦の会の商品が置いてあります。地域の人と売り場を作り、地域に貢献していきたいというお店の想いがあり、熊谷産小麦を使った商品を作っている小麦の会にお声かけいただきました。置いていただき、しばらくした時、お店の方から「ワンコインで買えるものを作ってみませんか？」とのアドバイスをいただきました。ちょっとした手土産にワンコインの商品なら買いやすいというお客様を思ってのご提案でした。そこで、パウンドケーキ3切れ入りの商品を作り、置いていただく事になりました。また、そのご提案をヒントに1本の半分の大きさのパウンドケーキを商品化し置いていただいています。地域の方との売り場は今後増やす予定で、地元のお弁当や、パン、その他、熊谷のこだわりの商品を置いて、地元の商店の売り上げに少しでも貢献出来たらとおっしゃっています。

値段が手ごろで美味しい旬の野菜とこだわりの調味料で「肉じゃが」などの料理を作ってみませんか？いつもの手料理が数倍美味しくなるかも。（O・Y）

季節の商品、本物のくずきり、美味しそうです。

くまがや小麦の会のパウンドケーキなど、地元の商品が置いてある一角

新商品「奄美パウンドケーキ」が出来ました

くまがや小麦の会設立　15周年を記念して、新商品「奄美パウンドケーキ」（1404円）を発売します。南国の太陽と黒潮の風に育まれた「100%奄美産さとうきび」原料の「島砂糖」は、甘さにキレがあり味に深みがあります。「島砂糖」を使ったパウンドケーキは、しっとりとまろやかで上品な味わいになりました。今年「奄美諸島」は、世界遺産に登録されます。熊谷産小麦と奄美産島砂糖のコラボ「奄美パウンドケーキ」は「Ｕｎａ ｃａｓｉｔａ（おなかすいた）」アズセカンド店のほか、くまがや小麦の会直売所で販売します。（R）